

会 議 議 事 録

		記 録 者	主幹 染谷 優一		
供 覧	部長	課長	補佐	係長	課員
件 名	平成29年度第2回龍ヶ崎市総合教育会議				
日 時	平成29年10月18日（水） 午後1時30分から午後2時20分				
場 所	市役所5階 第1委員会室				
主 催	中山一生市長（事務局：企画課地域戦略グループ）				
出席者	中山市長、平塚教育長、斎藤教育長職務代理者、大野委員、高橋容子委員 川村副市長、龍崎総合政策部長、森田企画課長、大貫企画課長補佐、記録者 松尾教育部長、飯田教育総務課長、重田教育総務課長補佐、近野教育総務課 係長、大野生涯学習課長、小林指導課長、北澤スポーツ・国体推進課長、 神永給食センター所長、辻井教育センター所長				
欠席者	1人（高橋伸子教育委員）				
傍 聴	なし				
議 題	1 開 会 2 市長あいさつ 3 議 題 （1）龍ヶ崎市の新しい学校づくりに関する基本方針（案）について 4 閉 会				
情報公開	<input checked="" type="radio"/> 公 開 <input type="radio"/> 部分公開 <input type="radio"/> 非 公 開	非公開（一部公開を含む） とする理由		（龍ヶ崎市情報公開条例9条 号 該当）	
		公開が可能となる時期 （可能な範囲で記入）		年 月 日	

事務局	<p>それでは定刻となりましたので、ただいまから平成29年度第2回龍ヶ崎市総合教育会議を開催いたします。</p> <p>なお、当会議におきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律、第1条の4第6項に原則公開で行うと明記されていることから、本日の会議は公開で行いたいと思いますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。</p> <p>それでは開会に当たりまして、中山市長よりご挨拶を申し上げます。</p>
中山市長	<p>皆さん改めましてこんにちは。毎日、立冬も過ぎてしまったのではないかとこのような寒い日が続いておりますが、そんな中で、急遽、衆議院解散総選挙ということで、全く影響ない方もいらっしゃるかもしれませんが、それぞれの立場で何かと慌ただしい日々を過ごされていることと思いますが、平成29年度第2回龍ヶ崎市総合教育会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>お気付きかもしれませんが、ちょうど前日と翌日の最高気温差が15度近くあったこともあり、風邪が悪化しまして、少し鼻声でございます。</p> <p>お聞き苦しい点があるかもしれませんが、お許し頂ければと思います。</p> <p>皆様方におかれましても、風邪など召さぬように、龍ヶ崎市における教育行政に対しまして、引き続きご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>本日は、高橋伸子委員が欠席でございます。</p> <p>本日の議題ですが、龍ヶ崎市の新しい学校づくりに関する基本方針（案）についてです。</p> <p>前回の総合教育会議において、教育委員の皆様からいただいた多くのご意見や、新しい学校づくり審議会でのご意見なども加味して、今回より具体的な案となっているところです。</p> <p>この後、担当から詳細を説明いたしますが、この基本方針（案）について、教育委員の皆様方から忌憚のないご意見、ご質問等をいただければと思います。</p> <p>なお、話が前後しますが、現在、衆議院総選挙における期日前投票については今週末まで行っており、日曜日には投開票が行われます。龍ヶ崎市は、残念ながら県内においての投票率がワーストに近い位置にございますので、教育委員の皆様におかれましては、すでに投票を済まされている方もいらっしゃるかと思いますが、東京通勤者の方々は、なかなか無関心な方が多いのかなという気がいたします。これに関しては、毎回、選挙管理委員会において投票率を上げていくような取組を行っているところですが、教育の面においては、投票に行く大切さをきちんと伝えていく事は、これからの教育に求められているところだと思います。</p> <p>特に投票権については、18歳まで引き下げになったことから、学校教育、義務教育にも身近な年代になったところですので、そういう配慮もこれからはしていかなければならないという思いがございます。</p> <p>話は逸れましたが、この総合教育会議も龍ヶ崎市においては、他市にはないくらいきめ細やかに開催しているということもございますので、やはり皆様の教育に対する思いの強さが、この総合教育会議にも表れていると思っております。最後になりますが、引き続き龍ヶ崎市の教育環境の充実を図っていく、そのような会議になりますことを心からご期待申し上げまして、私の挨拶とさせていただきます。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。それでは、議事に入りたいと思います。議事の進行につきましては、総合教育会議の主催者である中山市長にお願いしたいと思います。中山市長、よろしくお願いいたします。</p>

中山市長	<p>それでは、総合教育会議の議事進行のお役目を着座のままで進めさせていただきます。慎重審議の上で円滑な議事進行のご協力をお願い申し上げます。</p> <p>本日の議題ですが、前回と同様、龍ヶ崎市の新しい学校づくりに関する基本方針（案）について、皆様にご協議をいただく事となっております。</p> <p>また、本日の会議時間でございますが、午後2時30分の終了を予定しております。それでは、進めさせていただきます。議題の龍ヶ崎市の新しい学校づくりに関する基本方針（案）について、担当から説明をお願いします。</p>
教育総務課	（資料に基づき説明）
中山市長	<p>ただいま、龍ヶ崎市の新しい学校づくりに関する基本方針（案）について説明がございました。これらの件につきまして、委員の皆様からご意見をいただければと思います。</p>
高橋(容)委員	<p>ご説明ありがとうございます。だいぶ読みやすくなったかなと思います。また細かい所をお願いして申し訳ないですが、まず冊子の3ページの（2）学習カリキュラムの4・3・2制への移行の箇所で、「その際」という記載がありますが、全てのところがその際の話なので、これがどの部分でその際を指しているのかが分かりません。むしろ、4・3・2制に移行しますと、教科担任制については、中学校では実施していることなので、小学校でも教科担任制や、乗り入れ授業を活用しますということですので、その際という記載はあまり必要ない感じがします。私学等への進学者に対する留意というような文言等はとても良いと思います。</p> <p>最後の図ですが、図も中学校区等の表現がだいぶ整理されていると感じますが、「龍ヶ崎版」という版の使い方と「中学校区版」というのが重複しているので、並列にして良いものなのか、または違う表現にして中学校区別なのか、何かどちらも版というような表現が少し気になりました。あとステップアップは、私の中では成長というか伸びて行くという解釈をしているので、成長のステップアップという言葉が重なっているような気がいたします。前回どのような表現だったか私自身覚えていないのですが、成長がステップアップすることとは、どういうことなのか疑問に思いましたので、ご説明いただければと思います。</p>
教育総務課	<p>ご指摘のステップアップの部分ですが、確かに成長のステップアップという表現は相応しくないと思いますので、こちらの表現は変更しようかと思います。</p> <p>このステップアップという文言については、このまま使わせて頂きたいと思っております。</p>
中山市長	<p>前段でその際の部分はどういたしますか。</p>
教育総務課	<p>確かに、ご指摘のとおり、必要ないかなという感じがいたしました。こちらでも表現については、文言を変えたいと思います。イメージ図の方ですが、「龍ヶ崎版小中一貫教育」の部分と、「中学校区版龍の子人づくり学習カリキュラム」は違うことですが、同じ言葉を使っていますので、確かに紛らわしいかと思っております。したがって、少し変えたいと思います。</p>
中山市長	<p>はい、よろしくをお願いします。</p> <p>このステップアップはどうもこだわりがあるようで、前回ご指摘いただいたところでもありますので、この点における表現の仕方は少し工夫させていただきます。</p>

大野委員	<p>きたいと思います。他にありますか。</p> <p>私も同じようなことで少し気になった部分で、学習カリキュラム、龍ヶ崎版という所ですが、やはりそこが龍ヶ崎市の大元になって完成版だと思います。</p> <p>あとは、各学区については、色々な特色があるかと思いますが、必ずしもその中学校区版という感じではなく、もっと柔らかいニュアンスの方が良いと思います。</p> <p>これだと必ずしも中学校区版を作れみたいなイメージを持ってしまうような気がします。</p>
中山市長	<p>ありがとうございます。表現の仕方は今の流れでいいわけですね。</p> <p>他にありますか。</p>
斎藤教育長 職務代理者	<p>前回のことを含めて、かなり整理されて読みやすくなったと思います。</p> <p>ある程度、文面的にも良くなり、読んでいてスッキリとする感じがいたしますが、読みながら気になったことを申し上げます。</p> <p>3ページ(3) 龍の子人づくり学習の推進単位という見出しの所で、「なお、卒業後の進学先が複数の中学校となる小学校があり」となっていますが、小学校卒業のことなのか何なのか、若干自分としては読みづらさを感じました。</p> <p>そのあと「私学等への…」と書いてありますが、最後にこのような児童への対応にも留意するものとしすと記載されていますが、どのような留意が考えられていくのかが書いてあれば、何か留意していくということがとても建て前になる訳ですが、市内の中学校ではそれなりに留意していると思いますが、私学等への進学者に対して、どの程度留意するということが考えられるか。</p> <p>こういう面で留意という言葉を使ってしまっているのか少し気になります。</p> <p>留意することは大切であると思いますが、具体的にはどのようなことをイメージをしていくのかなということを少し頭を巡らしていたところです。</p> <p>あと4ページ(1) 地域の人材・資源を活かしたキャリア教育や体験学習の見出しの下にある「キャリア教育と農業体験」などと書いてありますが、キャリア教育は理解できますが、農業体験などの記載については、なぜ農業が強調されているのか疑問に思います。</p> <p>もっと並列して何か記載があれば理解できますが、いきなり農業だけピックアップされても、読んでいる人は、なぜなのかが分からないと思います。</p> <p>もちろん協働という意味では大事なことは違いないのですが、他に何かキャリア教育とか、その他の社会体験的なものを若干、つけ加えた方がいいような気がしました。</p> <p>5ページの頭の方で、前回お伝えした施設一体型の小中一貫教育を目指しますということが、文面として「モデル校の設置を検討します」というように置き換えられています。</p> <p>そして、「モデル校における実践の成果を他の中学校区に広げていきます」とありますがここの文面が少し気になりました。</p> <p>広げていきますということは、この学校づくりの基本方針というのは、どのぐらいの期間を想定した形でイメージしていくのか。例えば、5年後あたりまでをイメージするのか、それが期間的なものがあるのかどうか、その中でうまく出来なければあまり言い過ぎても仕方がないのかなと思ったんです。</p> <p>将来をずっと見てるならばいいのかもしれませんが、「モデル校における実践や成果を保ち、学校に広めていきます」という文面が少し気になります。</p> <p>施設一体型のモデル校の検討をして、そのモデル校がやってきたものを、どう広げていくということなんだろうと思います。</p>

	<p>検討している内容を言っていくのか、それともある程度、実践してきたものを言っていくのかというところが私としては、はっきり読みにくかったです。</p> <p>そのページのところで (3) の教職員の増員及び教員の資質能力の向上の見出しの中の5段目に、「そこで、小学校における教科担任制の導入拡大に必要な教員の専門性を高めるための人材育成や研修を充実していきます」と記載してあります。確かに、この専門性を高めるということは、当然大事なことだと思いますが、それとともに、いわゆる小中との交流も文面に入っていますが、人的配置とか、それらの学校の組織づくりとか、そういう配置の問題、またはその担任とか教科担任の問題、専門性だけの問題ではないので、そういう研究も取り入れなければいけないと思います。校内のいわゆる先生方をどのような教科担任として配置していくんだということを大事にして、学年内なのか、それともブロックとしての学年だとした時に、学年なら5・6年を単位にするのか、6年かけて教科担任を考えて行くのかを考慮すると、交流の問題が非常に大変だと思います。</p> <p>専門性だけではないので、校内の配置が非常に大事であるという研究もしていかなければ、教科担任制には繋がっていかないため、そのような研究も必要なのではないかと少し思ったところです。感想も含めて以上です。</p>
<p>中山市長</p>	<p>はい、何点かありましたが、よろしくお願いします。</p>
<p>教育総務課</p>	<p>はい、分かる範囲でお答えさせていただきます。</p> <p>3ページ (3) の文面のいちばん最後にある留意はどのようなものかというご指摘ですが、具体的にこの中で言葉の表現が難しかったので、このような表現にさせていただいたところでございます。</p> <p>次に、4ページにある (1) 農業体験などの農業ということにここだけ特化していることにつきましては、少し文言の方を整理して、適切な表現に整理したいと思います。</p> <p>次の5ページ、上から7行目です。「他の中学校区に広げていきます」というので、期間的な考え方ということだと思いますが、この基本方針ですが、これは何年から何年までというのは、特に期間を定めていないものですので、ある程度、中長期的な考え方を示しております。</p> <p>その前段で、4ページ、下段の (1) の施設面の取組の部分で、学校施設や教職員組織が一体となっている「施設一体型」の小中一貫校の方が望ましいという表現となっておりますが、それを受けまして、モデル校を検討して、それを各中学校区というように繋げておりますが、この中学校区を広げるというのは、現時点では中学校区単位で、正式には、平成32年度から小中一貫教育の龍ヶ崎版を推進していきましようということを踏まえまして、このような表現にしてはしておりますが、特段何年までということではないですが、中長期的な考え方を意図して書いたものでございます。</p> <p>5ページの中段の (3) の文面のなかにもあります「教科担任制の導入拡大」とか、「教員の専門性を高めるための人材育成や研修の充実」という点のご質問がありましたが、これは少し整理してお答えさせていただきます。</p>
<p>中山市長</p>	<p>はい、よろしいでしょうか。</p> <p>施設一体型に関しては、時期的な問題は出来るだけ早い方がいいのかなと思いますが、やはり施設だけ作ったのでは意味がないので、中身をしっかりとした中で、その施設を作っていくという時には、そのエリアの皆さんにこういう教育を進めていきますので、子ども達も一緒に学んでいきたいと思いますという働きかけができるようなプロセスが必要なのかなと思っております。</p>

<p>斎藤教育長 職務代理者</p>	<p>その中で、早く作りたい一方で予算の関係もあり、学校施設は多額な財源を必要としますので、その点で乗り越えられない部分があったりもする可能性があります。</p> <p>その点については少し調整しながら、子どもたちの教育のために、なるべく早い時期を目指していくべきだろうと思っております。</p> <p>施設一体型を目指していくということは、大変望んでいることですので、そういう意味ではありがたいと思いますが、つくばの方で施設一体型のことに関して、再検証するような話が出ています。何をどうするのかは私はさっぱり分からないのですが、つくば市としてはどんなことを考えているのか。</p> <p>つくば市の情報はわかりませんが、検証をしているんだということが、それぞれの学校に広めていく、それぞれの地域に広めて行こうといったことなのか、私としては気になっているところです。</p>
<p>中山市長</p>	<p>その点、つくば市は先進自治体があるわけですので、そういう先進自治体の成功例、問題点等々は十分参考にしていくべきところがあると思います。</p> <p>やはり、9年間というのは、ある意味、長いのかなという思いがありますが、少子化の時代の教育という意味では、この小中一貫というのはこの時代に求められているのかなという思いもあります。</p> <p>そのような中で、どのような教育を作っていくか、先ほど申し上げましたが、ハコモノではなく、コンテンツが大変重要になってくると思いますので、その点、今この新しい学校づくり審議会でも協議していただいておりますし、教育委員会でもそういう方針で、色々な知恵を絞っていただいている所だと思います。教育委員の皆様にも是非、ご指導いただきたいと思っております。</p> <p>そういう形で様々な事例も参考にしながら進めて行くべきだと思います。</p> <p>また、余談になりますが、ある意味つくば市は少し急ぎ過ぎたのかなというところもあるのかなという気がします。</p> <p>先にハコモノありきみたいなのところもあったのではないかなと思います。これは憶測なので、あまり無責任な事は言ってはいけないのかも知れませんが、その点は、我々もしっかりと見極めていかなければならないものだと思います。教育委員会の皆様にも是非、注目していただきながら、今後の検討の糧にいただければと思っております。</p>
<p>大野委員</p>	<p>確認しておきたいことがあるのですが、新しい学校づくりで目指すべき目標が小中一貫ということが明確に設定されつつある中で、これまで行われてきたその適正規模・適正配置という要素も入っているとは思いますが、例えば2・3年後にそういった各地区において、長戸小学校または、北文間小学校のような状況になった場合、統廃合的な考えもこの経過する中でやるべきなのか、それとも小中一貫としても、そこだけに向かって行くのかという所を確認しておきたいと思っております。</p>
<p>中山市長</p>	<p>はい、事務局お願いします。</p>
<p>松尾教育部長</p>	<p>お手元の資料の5ページの上段のところ、今ご指摘のあった件も年頭におきながら文章整理させていただきました。</p> <p>5ページの上段の2段目です。「これとともに」という所ですが、各小中学校の小規模化の進行見通しや中学校区別の児童生徒数の推移、地域の施設一体型、小中一貫教育の移行ご要望などを考慮し、施設一体型小中一貫校のモデル校の設置を検討します。</p>

	<p>そして、モデル校の取組を各中学校区に広げていきますということで、先ほどのどういうスケジュール間なのかというところの補足にもなりますが、大きな方向感としては小中一貫教育を進めていきます。</p> <p>その際、小中一貫教育を進める場合は、施設一体型の方が環境としては望ましい一方で、様々な課題がありますので、一気に施設一体型に行くのも現実的に厳しいため、順次モデル校を設置して、その取組を次の学校の施設一体型の取組などに反映させていく、これは順次繰り返していき、最終的には施設一体型の小中一貫教育が龍ヶ崎市で全て行われるというスケジュール感で考えました。</p> <p>今、大野委員からありましたように、その施設一体型の小中一貫校を全てというように考えてしまうと、実はその間も児童生徒数の減少というのは、やはり歯止めがかからない、現実に行ってしまう、そうすると学校によっては、ますます小規模校化が進んで教育環境上、必ずしも好ましいというわけでもないということになります。最終形としては施設一体型を目指すわけですが、プロセスとして違うワンステップ、ツーステップを踏んで、施設一体型を目指すということも場合によっては、必要になるのではないかと考えております。</p>
大野委員	<p>そうですね。どのような状況になるかというのは、2、3年後、5年後、10年後といっても、かなり早まっている感が私自身感じておりますので、やはりその時の状況によって、先を見据えながらやっていければと思います。</p>
中山市長	<p>はい、ありがとうございます。他にございますか。</p>
平塚教育長	<p>冊子3ページ(3) 龍の子人づくり学習の推進単位の中に記載されている「なお、卒業後の進学先が…」という箇所ですが、事務局の方にお伺いしますが、現在、龍ヶ崎市の実態として私学等への進学者は、どの程度の数値をおさえていますか。</p>
教育総務課	<p>今年で40人弱と聞いております。</p>
平塚教育長	<p>私学等への進学者に対して、どのように留意するのかと、先ほどご質問があったようにイメージが湧きませんので、何かしらの検討をお願いいたします。それから、同ページの上のア・イ・ウのイの部分、キャリア教育、シティズンシップ教育、とてもこれから子どもたちが、わが町龍ヶ崎に誇りを持って生きていくというのが非常に大切になってくる部分かと思えます。そういう身近な地域調べ、職場体験学習、人権教育学習、既にやっている学校教育の中における学習内容、その下の政治への参画意識、また、何か手法がずいぶん違う分野になってくるかなと思えます。</p> <p>ここの表現について、もう少しシティズンシップ教育に関わる何か例示した取組が入ると分かりやすいのかなというような感じがいたしました。</p> <p>あと、この龍ヶ崎の新しい学校づくりを進める点について、小中一貫教育は手段であって、小中一貫教育をするのが目的ではないということがやはり繰り返して立ち止まって、そこに原点を置かないといけないと思えます。新しい教育によって人づくりをこれからやっていく手法として、小中一貫教育という方法が有効だから、龍ヶ崎版の小中一貫教育をやっていくということですよ。</p> <p>ですから、ゴールは人間形成、人格形成、人材育成といった部分になってくるのかと思えますので、今後、審議する際には目標を持って、そこでやるという認識については、何度も確認をしながら作業を行っていければと思います。</p>

中山市長	何かありますか。はい、お願いします。
教育総務課	教育長からございました義務教育のシティズンシップ教育の部分で例示してありますが、確かにこちら統一感がない記載であったり、シティズンシップ教育についての例がなかったりしておりますので、この点は削除したいと思います。
中山市長	よろしいですか。他にございますか。 まだ若干予定された時間に余裕がございますので、何かあればお願いします。
高橋(容)委員	今頃になって気が付いてしまったのですが、全体の流れとして今まで取り組んできた家庭という部分が、結構薄めになっているような気がしまして、地域の人々や学区の関係で仕方がないと思うのですが、ここに家庭がどのように関わるかという部分がもう少しあると、今までやってきたことと整合性が図れると思いますので、今からでも間に合うようでしたら検討をお願いします。
中山市長	今の件に関して何かございますか。
教育総務課	はい、検討したいと思います。
平塚教育長	高橋委員のご指摘のとおりかと思えます。このイメージ図においても、地域との連携の部分で、やはり家庭教育のご理解無しで、この教育を進める事は非常に困難な部分があると思えます。従って、こちらについては家庭の役割も非常に大きいので、今後すぐにもでも検討していく必要があると私も感じました。ありがとうございます。
中山市長	はい、ありがとうございます。リレーションシップのところでは家庭と出てきておりますが、確かにそれについて触れている部分があまりないですね。 今、教育長がおっしゃられた通りだと思います。よろしく願いいたします。 他にございますか。特になければ、時間も迫って参りましたし、皆さまも次の会議があると思えますので、これで審議の方は終わらせていただきます。 事務局から何かありますか。よろしいですか。今、いくつか大事なご指摘もございましたので、これらの内容も踏まえた上で、新しい学校づくり審議会から答申をいただき、その後、パブリックコメントを行っていくという段取りになるかと思えます。 今いただいた意見を集約して、また審議会などの意見を集約しながら、基本方針として参りたいと考えておりますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。 それでは、以上をもちまして、本日の会議を閉会とさせていただきます。 皆様の慎重審議に感謝を申し上げまして、議事進行のお役目を終えさせていただきます。ありがとうございました。